

令和4年11月5日(土)名城大学大学祭 名城大学八事キャンパスでのEプロ活動「くすり教室：実験講座」(共催：特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO))

名城大学薬学部では出前講義の一つとして、高齢者や小学生に「くすり」や「薬物依存」のことを知ってもらう授業や体験実験を、特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO)の協力の下に行っています。令和3年度から、新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていました出前講義や名城大学 Enjoy Learning プロジェクト(通称：Eプロ)の活動が再開され、今年度4回目のEプロの活動となりました。

令和4年11月5日(土)、名城大学大学祭にておくすり教室2022—学ぼう!薬の正しい使い方—を下記の内容にて開催しました。当日は子どもから大人まで総勢70名の方が参加し、「くすりの適正使用」、「正しい点眼方法」、「手指消毒、手洗い方法」について学びました。参加者からは「とても勉強になった」、「体験ができて楽しかった」といった感想を頂くことができました。日常的に使う薬やアルコール消毒に関する質問もあり、積極的に学ぼうとされる方も多くみられました。

名城大学八事キャンパスにおける「くすり教室」

日時：令和4年11月5日(土)10時00分-15時00分

場所：名城大学八事キャンパス 新3号館301教室

内容：

・「体験実験」

体験実験するコーナーを3テーブル設置し、参加者は各テーブルを回りながらEプロの薬学生(5年生9名、4年生9名)から実験目的の説明を聞き、5つの体験実験を行いました。「くすり」の溶けやすさの違いや飲み合わせによる色の変化を観察してもらい、驚きの声があがりました。

<実験項目>

①薬の溶ける工夫(飲みやすさ)

②薬と飲食物との関係(相互作用)

実験1：コップ一杯の水かぬるま湯で「くすり」を飲むのはなぜ？

実験2：水がなくても飲める「くすり」があるのを知ってる？

実験3：シロップの「くすり」と「お茶」を一緒に飲むとどうなるの？

実験4：「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうなるの？

実験5：オレンジジュースで胃痛を和らげる「くすり」を飲むとどうなるの？

・「正しい点眼方法」

点眼瓶を用いて実際に点眼手技を行ってもらい、普段正しく点眼が行えている確認しました。確認後は、クイズ形式で正しい点眼方法の説明を参加者に行いました。参加者からは、「目薬と湿布と一緒に保管しない方がよいのは知らなかった」、「今後は点眼後に目頭を押さえるようにしたい」などの感想を頂くことができました。

・「正しい手指消毒・手洗い方法」

正しい手指消毒・手洗いの手順の説明後、手洗いチェッカーを用いて、参加者の手指消毒・手洗いが適切にできているかを確認しました。特に手洗いでは、洗い残しのあった参加者が多く、洗い残しの多かった箇所は「爪の付け根」、「爪の間」、「指の側面」でした。参加者からは、「自分は手洗いがしっかりできていると思っていた」、「洗い残しが思った以上に多くて驚いた」と自身の手洗いの状況を再確認してもらう良い機会となりました。

制作：Eプロ(名城大学薬学部病態

解析学I：若原和生)

監修：NPO J-DO

